

平成29年度の北信地域障がい福祉自立支援協議会に向けて

部会名	目的	部会長	構成機関(下線は本年度新規参加)	事務局	28年度の取り組み・成果	29年度に向けて
雇用支援 ネットワーク部会	障がい者の企業への就職と職場定着をより一層進めていくための、関係機関による連携協力体制の構築を目指すことを目的とする。	飯山公共職業安定所 統括職業指導官 松山様	飯山公共職業安定所・ふつくら工房ふるさと・北信地域振興局商工観光課 長野地域振興局商工観光課・北信保健福祉事務所福祉課 飯山養護学校・農村木島平株式会社・株式会社フジすまいるファーム飯山 まいさぼ中野・まいさぼ飯山・中野市びあワーク・マッシュルーム NPO法人ぱーむほいず・山ノ内町ももの木・木島平村つくしの家・ 相談支援事業所	宮崎 小湊 湯本 小林	●部会(年3回) ●3つの委員会活動の実施 ①就業生活をサポートするための関係機関との連携及び体制確認 ②各委員会が把握する課題を共有し、取り組む方向性の確認 《成果》 ①企業に向けた部会の説明用リーフレットの作成 ②就労継続A型事業所見学会の実施 ③地域で働く障がい者の紹介(ローカル紙)	●部会(年3回)と委員会活動 圏域内の就労継続事業(福祉サービス事業)や企業にもご参加頂き、障がい者雇用促進のための体制強化を目指す。 ①「合理的配慮」をより理解を深めるための学習会 ②個別課題の抽出と支援視点の検討 ③引き続き地域で働く障がい者の紹介(ローカル紙)
本人中心部会	障がいのある方がこの地域で安心して自発的に生活できるよう、ニーズに沿ったよりよいサービスの提供ができる地域をつくるために活動する。当事者が積極的に活躍できる場を広げ、当事者主体の活動を後方支援していく。	つくしの家 管理者 堀内様	つくしの家・ももの木・マッシュルーム・びあワーク・りんごの木・竹馬 常岩の里ながみね・のぞみの郷高社・ふつくら工房ふるさと 中野デイホームこころ・サービスセンターりんく・すみれの家 北信保健福祉事務所福祉課・相談支援事業所	丸山 石田 久保田 徳竹	●3つの委員会活動 ①昨年度「みんなで楽しもう会」に参加された方を対象に想いの受け止め活動の実施。 ②当事者向けの事業所や公民館活動等の見学体験ツアーを9回実施。 ③当事者が実行委員となり企画・実施できるよう後方支援。 《成果》当事者から聴いたお話を部会活動につなげたり、当事者活動の後方支援に重点を置いた取り組みを、各委員会が連動して行えた。	●3つの委員会活動 ①ニーズ聴きたい・つなげたい 想いの受け止め活動の継続・地域の優しいマップ作り ②いってみてやって委員会 当事者向けの事業所等の見学・体験ツアーの実施 ③みんなで楽しもう会 当事者活動の後方支援
サービス向上部会	地域の支援者の支援力の底上げをめざし、障がい理解や適切な支援ができる人を地域に増やしていく事を狙いとする。	山ノ内町社協 局長 鈴木様	北信保健福祉事務所福祉課 中野市社会福祉協議会・飯山市社会福祉協議会・山ノ内町社会福祉協議会 木島平村社会福祉協議会・野沢温泉村社会福祉協議会・栄村社会福祉協議会 (有)ゆりかご・NPO法人くらぶDO・NPO法人こころ・はるかぜ いこいの里・中野キッズはぐみ・こどもプラス・メゾふおるて・ふつくら工房ふるさと 青りんご・ケアホーム希望・サービスセンターりんく・やまとサービスセンター 常岩の里ながみね・相談支援事業所	大口 河野 小林 徳竹	●部会(年3回)…各研修会の企画・振り返りや、情報共有等 ●研修会(年4回) 部会員で各研修会の担当者を決め、研修会の企画を行った。 《成果》現場の悩みや困り感等を話し、また現場ですぐに活かせる物を持ち帰って頂けるように、グループワークを取り入れた研修会を実施し好評を得ている。また、研修会の企画を行う事で、部会員自身のスキルアップにつながっている。	●部会(年4回) ヘルパー、暮らしの場、児童の3つのグループに分かれ、課題検討を深めていく。 ●研修会(年4回) 1年間のテーマを「寄り添って何?」とし、現場の悩みや困り感を等を出し合ったり、現場で活かせるものを持ち帰って頂けるような研修会を企画・実施する。
精神部会	精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう入院中から医療・保健・福祉等で連携して支援が行える体制を構築していく。更に啓発活動等を行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。	栄村健康増進係 保健師 樋口様	北信保健福祉事務所福祉課・健康づくり支援課 中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村 北信総合病院・佐藤病院・飯山赤十字病院 メンタルケアみゆき・つくしの家・りんごの木 NPO法人こころ・中野市デイホームこころ・飯山市地域活動支援センター サービスセンターりんく・ふつくら工房ふるさと・相談支援事業所	大口 門脇 徳竹	●部会(年3回)…各PJ活動の集約・情報共有 ●プロジェクト活動(年4回) ①地域移行PJ…事例検討・長期入院者等の面談等 ②地域定着PJ…資源マップ作成・家族研修会の実施等 《成果》長期入院者等との面談や事例検討を継続する中で、関係機関の連携を深めることができた。また、取り組みを継続する中で、長期入院者の地域移行も進み、地域定着のための取り組みが主となってきた。	●部会(年5回) 地域移行PJ、地域定着PJに分けずにより一体化し、活動を行っていく。 ①長期入院者等との面談の継続 ②事例検討(退院から地域生活、高齢分野との連携等) ③当事者・地域に向けた啓発活動 ④仲間としゃべろう会虹の継続
そだちネットワーク部会	様々な障がいや困り感を持っている子ども及び家族の気持ちに寄り添いながら、子どもや家族を支える地域の関係機関の連携体制を構築していくことを目的とする。 ～3つの基本的柱～ ①子どもの困り感や特性に合わせた支援 ②家族の気持ちに寄り添う支援 (障がい受容プロセスの伴走者であること) ③関係機関のネットワーク機能の充実	飯山養護学校 校長 高山様	飯山養護学校・北信保健福祉事務所健康づくり支援課・福祉課 中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村 中野市教育委員会・飯山市教育委員会・山ノ内町教育委員会 木島平村教育委員会・飯山学園・いちご学園・ゆきんこ園・相談支援事業所	大口 坂爪 高橋 邊田	●部会(年5回):新たに3つのワーキンググループが発足した ①子どもの困り感や特性に合わせた支援WG ②家族の気持ちに寄り添う支援WG ③関係機関のネットワーク機能の充実WG ④重心・医ケアWG:実態調査の実施・結果のまとめ ●飯山養護学校特別支援教育連携協議会との連携 《成果》 ・各WGにおいて、どのような目的で活動していくのか共有し、今後の活動内容について検討した。 ・7/9に学習障害をテーマに発達障がい支援フォーラムを実施した。スタッフを含め230人の参加となり、大盛況に終了した。	●部会(年5回)4つのWGでの活動を進めていく。 ①小学校から中学校の支援が途切れない為のシステム作りの検討。 ②家族の発達障がいの理解や受容に焦点を当てて取り組む ③支援者がチームを作るためのツールの検討 ④実態調査のまとめと、課題検討・親の会の開催にむけての検討 ●発達障がい支援フォーラム開催にむけてフォーラム実行委員会を中心に取り組んでいく ●飯山養護学校特別支援教育連携協議会との連携 連携協議会事務局を運営委員会メンバーに加え連携している
権利擁護部会	障がい者、高齢者等の権利をどう支えていくかについて、幅広い観点から、関係機関の連携協力体制を構築していく中で、誰もが住みやすい街づくりを目指していく。	山ノ内町社協 次長 山口様	中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村 中野市社会福祉協議会・飯山市社会福祉協議会・山ノ内町社会福祉協議会 木島平村社会福祉協議会・野沢温泉村社会福祉協議会 栄村社会福祉協議会・ひまわり長野・リーガルサポートながの ぱあとあながの北信支部・北信圏域権利擁護センター サービスセンターりんく・のぞみの郷高社・常岩の里ながみね 北信保健福祉事務所福祉課・相談支援事業所	大口 市村 徳竹	●部会(年6回) ①啓発PJ…障害者虐待防止をテーマに啓発活動 ②ニーズPJ…「権利擁護に関するアンケート」のまとめと報告 ③権利擁護センター連携PJ…成年後見制度に関わる6市町村の要綱について理解を深め、部会内で学習会を実施 《成果》「権利擁護に関するアンケート」の結果から北信圏域での課題が抽出できた。	●3つのPJで活動を行い、PJ間の連携を強めていく。 ①啓発・研修PJ 「権利擁護」をわかりやすく伝えていく。 ②地域連携PJ 地域課題を把握し、検討を進めていく。 ③差別解消支援地域協議会検討PJ 市町村課題検討WGとキャッチボールしながら、協議会の在り方について検討を進めていく。
幹事会	北信圏域の障がい者福祉の現状と課題を踏まえながら、地域に必要なとされる取り組みや施策の実現に向けて、さまざまな検討協議を行う。 また、協議会が円滑かつ効果的に機能するための検討協議を行う事を目的とする。	飯山市保健福祉課 課長 常田様	中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村 北信保健福祉事務所福祉課・相談支援事業所※必要に応じて部会長の参加 ●課題検討ワーキング ●ケアプラン研究会 ●地域生活支援拠点等検討会議 ●地域資源開発プロジェクト ・就労アセスメント体制整備PJ	丸山 大口 徳竹	●幹事会(年5回) 相談支援専門員の活動報告を受け、地域の課題について検討。 ●市町村課題検討WG(年12回) ・サービス等利用計画の内容の精査・適切なプランの視点を学習。 ・圏域内の相談支援専門員との情報共有・意見交換会の実施。 ・障害者差別解消支援地域協議会設置についての検討 ●地域生活支援拠点等事業検討会議(年12回) 《成果》地域生活支援拠点等事業に係る予算化	●幹事会(年5回) 相談支援専門員や各部会等からの報告を受け、地域の課題についての検討を継続していく。 ●市町村課題検討WG(年12回) ・ケアプラン研究会の継続 ・障害者差別解消支援地域協議会設置についての検討継続 ・第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の作成 ●地域生活支援拠点事業検討会議
協議会	北信圏域の障がい者福祉にかかわる関係機関の連携と協力を構築し、地域の障がい者福祉の更なる向上を目指すことを目的とする。	飯山市保健福祉課 課長 常田様	別紙構成機関	丸山 大口 徳竹	●協議会(年3回) 《成果》 ・ホームページのリニューアル。 ・一般公開を継続し、傍聴者が増えてきており、関心が高まっている。	●協議会(年3回) ・地域生活支援拠点事業の拡大 ・障害者差別解消支援地域協議会の設置 ・第4期障害福祉計画のモニタリングと、第5期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画の作成 ・協議会の地域に向けた啓発